北海道運輸局発注者綱紀保持委員会　第１１回定例会議概要

開催日及び場所	令和３年９月１５日（水）　北海道運輸局　６階会議室
委　　員	委　員　長　　桑山　秀也（北海道運輸局総務部長） 副 委 員 長　　鎌田　佳宣（北海道運輸局総務部次長） 委　　員　　久原　賢一（北海道運輸局総務課長）　※欠席 委　　員　　遠藤　貴志（北海道運輸局人事課長） 委　　員　　森田　育宏（北海道運輸局会計課長） 外 部 委 員　　吉見　　宏（北海道大学理事・副学長） 外 部 委 員　　千葉　寛樹（税理士） 外 部 委 員　　市川　隆之（弁護士） （敬称略）

定例会議議事概要

北海道運輸局	委　　員
１．北海道運輸局発注者綱紀保持規程について	
◎　保持規程第６条の「報告」に関し過去１年間「規程に抵触する事案の確認・通報」は『該当無し』である旨を報告	○質問、意見特になし
◎　保持規程第１２条の「不当な働きかけに対する対応」に関し過去１年間「職員が事業者等から不当な働きかけに該当するような行為を受けたとの情報」は『該当無し』である旨を報告。	○質問、意見特になし
◎　保持規程第１５条の「研修、講習等」に関し「発注担当職員」に対する教育の実施状況を報告。 （公正取引委員会主催の研修会参加等）	○新型コロナ禍という状況下で研修への参加者が少なかったようであるが、通常であればもっと多くの参加者が見込まれるのか。
【回答】 　新型コロナによる会場閉鎖が発生していなければ１０名前後の参加を予定していた。 　しかし、毎年同じ研修への参加ではマンネリ感が生じるので、他の組織が主催する会議、研修等があれば参加を検討したい。 　また、時間が取れない職員の為に一問一答形式の資料を提供するなど、工夫を凝らしていきたい。	○研修等の開催形態はどのようなものか。
会議、研修等のオンライン化が進み、参加率の向上が期待される一方、発注業務を主としていない職員にとっては、単純に参加意欲が向上するものではないと思われるので、ノルマ的に参加させるだけではなく、有効性も考えていく必要がある。	

２．その他
なし